

九十九島南部の海上で見られる野鳥について

山口朗子・溝口雅貴・宮本博文・出来真由美・吉永哲三・田川澄子

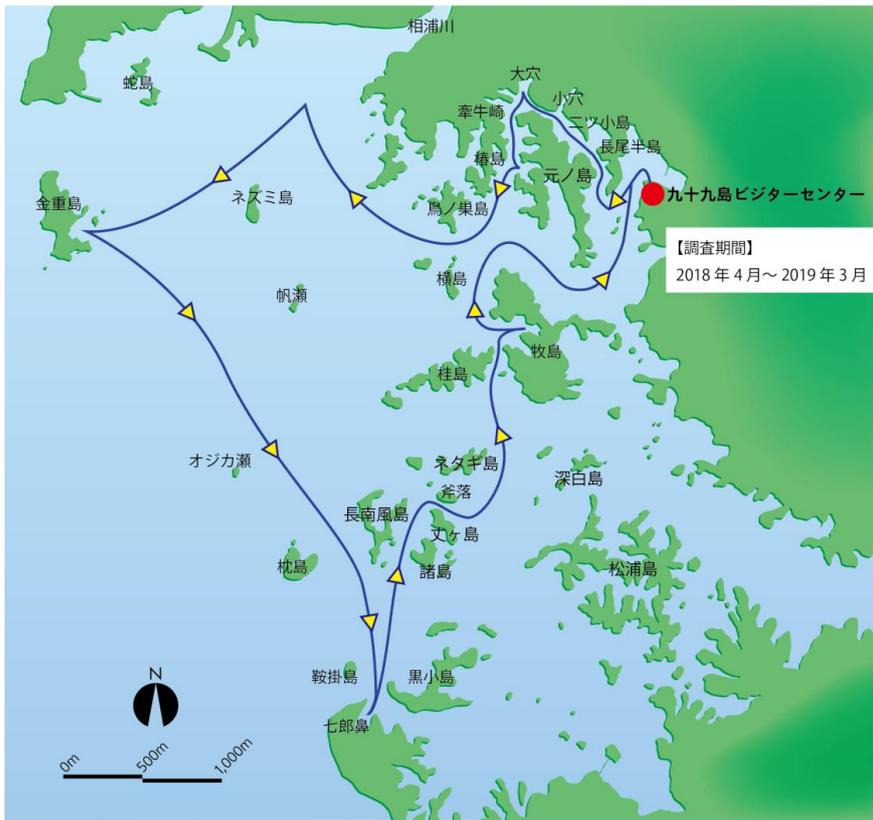
はじめに

九十九島周辺は西海国立公園に指定され、豊かな自然が残り常緑広葉樹林を中心にさまざまな種類の植物が生育している。そのため、野鳥の餌となる植物や昆虫も豊富で多くの種類の野鳥が観察できた。また、九十九島の島々は小さな入り江が多いことから、外敵に狙われることが少なく鳥が安心して生息できる場所であるため、冬になると渡ってくる多くの種類のカモも観察することができる。そこで、2018年度から九十九島南部の海上ではどのような野鳥が観察できるのか調査をおこなった。

調査期間・方法

2019年4月から2020年3月の間に月に2回程度（合計26回）海上から観察できる野鳥の調査を実施した。調査は2人以上でモーターボートに乗って実施し、水質・環境モニタリング調査で回るコース（図1）で確認できた野鳥を確認場所と共にチェックシートに記録した。主に目視や双眼鏡を用いて確認をする他、名前がわからない鳥についてはカメラで撮影した後に確認作業を行った（鳴き声のみ確認したものは記録せず）。

図1 調査ルート



結果と考察

2019年度は、1年間で26種の野鳥を確認することができた（表1）。九十九島で繁殖が確認されているミサゴ、トビ、アオサギはほぼ1年を通して確認できた。また、長崎県と佐世保市のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に選定されているクロサギの営巣も確認したが、途中で巣を放棄してしまい、繁殖には至らなかった。ただ、クロサギは本調査時以外でも多く目撃され、時期によっては一度に10羽近く確認できたこともあり、今後も継続して観察を続けていきたい。

確認種数の変動を見てみると、今年度も夏期より冬期の方が多く（表3）、冬鳥の飛来は11月あたりから増えてきていることがわかった（表1、2）。冬期に南九十九島海域でほぼ毎年観察できているカンムリウミスズメについては、これまででは沖の方で確認できていたが、今年度は陸地に近い場所でも確認され、前年度より広い範囲で移動していることがわかった（表3）。

表 1 年間の九十九島南部海上で確認できた野鳥

日付	4/8	4/13	5/1	5/14	6/3	6/16	7/1	7/15	8/1	8/19	8/30	9/15	9/30	10/7	10/15	11/2	11/16	12/5	12/23	1/2	1/11	1/16	2/3	2/20	3/1	3/13			
1																													
2																													
3																													
4	○	○	○											○														○	
5																												○	
6				○																								○	
カモsp					○																								
7																													
カンムリウミスズメ																													
8																													
カツオドリ																													
9																													
オオセグロカモメ																													
10																												○	
セグロカモメ																													
11																													
ウミネコ																													
カモsp	○	○	○			○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	○	○	○																										
クロサギ																													
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アオサギ																													
サギsp				○																									○
14																													○
イソシギ																													
シギsp																													
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ミサゴ																													
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
トビ																													
17																													
ノスリ																													
18																													
アオバト																													
19																													
イワツバメ																													
20			○						○		○																		
ツバメ																													
21																													
ハクセキレイ																													
22																													
ヒヨドリ																													
23																													○
インビヨドリ																													○
24						○																							
スズメ																													
25						○			○																				
ハシボソガラス																													
26																													
ハシブトガラス																													
カラスsp				○																									○

表2 時期別の渡り区分での目撃数(種)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
留鳥(種)	8	11	10	11
夏鳥(種)	1	1	0	1
冬鳥(種)	2	2	4	9
旅鳥(種)	0	0	0	0
計	11	14	14	21

表3 種別の確認できた場所と目撃数

	種名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	渡り区分	観察場所
1	カンムリカイツブリ				○	冬鳥	相浦川河口、鳥ノ巣島、元ノ島
2	ハジロカイツブリ			○		冬鳥	鼠島
3	カイツブリ				○	留鳥	元ノ島
4	カワウ	○	○	○	○	冬鳥	相浦川河口、オジカ瀬、金重島、鞍掛島、グワタグワン、七郎鼻、鳥ノ巣島、長南風島、鼠島、牧島、元ノ島、諸島
5	マガモ	○		○	○	冬鳥	相浦川河口、大穴、金重島、七郎鼻、鳥ノ巣島、長尾半島、牧島、元ノ島
6	カルガモ	○	○	○	○	留鳥	相浦川河口、大穴、桂島、金重島、鞍掛島、七郎鼻、鳥ノ巣島、長尾半島、牧島、元ノ島
	カモsp	○		○	○	-	牧島
7	カンムリウミスズメ				○	冬鳥	相浦川河口、オジカ瀬、桂島、文ヶ島、鳥ノ巣島、長南風島、帆瀬付近、牧島
8	カツオドリ				○	冬鳥	金重島、長南風島、鼠島
9	オオセグロカモメ				○	冬鳥	桂島、金重島
10	セグロカモメ			○	○	冬鳥	相浦川河口、オジカ瀬、桂島、金重島、鞍掛島、鳥ノ巣島、長尾半島、長南風島、深白島、帆瀬、牧島、元ノ島
11	ウミネコ		○		○	冬鳥	金重島、鳥ノ巣島、横島
	カモメsp	○	○	○	○	-	相浦川河口、オジカ瀬沖、桂島、金重島、小深島、七郎鼻、鳥ノ巣島、鼠島、牧島、元ノ島、斧落とし、横島
12	クロサギ	○	○	○	○	留鳥	金重島、鞍掛島、七郎鼻、文ヶ島、鳥ノ巣島、長南風島、ネタギ島、牧島、諸島
13	アオサギ	○	○	○	○	留鳥	相浦川河口、大穴、オジカ瀬、金重島、鞍掛島、文ヶ島、鳥ノ巣島、長尾半島、長南風島、ネタギ島、牧島、元ノ島、諸島、斧落とし、横島
	サギsp	○	○	○		-	相浦川河口、文ヶ島、ネタギ島、牧島
14	インシギ	○	○	○	○	留鳥	七郎鼻、牧島、松浦島、元ノ島
	シギsp		○			-	牧島
15	ミサゴ	○	○	○	○	留鳥	相浦川河口、大穴、金重島、小深島、七郎鼻、文ヶ島、鳥ノ巣島、長南風島、牧島、松浦島、元ノ島、諸島
16	トビ	○	○	○	○	留鳥	相浦川河口、大穴、オジカ瀬、金重島、桂島、鞍掛島、七郎鼻、文ヶ島、椿島、テンモク島、鳥ノ巣島、長尾半島、長南風島、鼠島、ネタギ島、牧島、枕島、松浦島、マリーナ、元ノ島、諸島、斧落とし、横島
17	ノスリ				○	冬鳥	牧島
18	アオハト				○	留鳥	大穴
19	イワツバメ				○	夏鳥	大穴
20	ツバメ	○	○			夏鳥	金重島、七郎鼻、牧島、松浦島
21	ハクセキレイ		○	○		留鳥	文ヶ島、牧島
22	ヒヨドリ		○	○	○	留鳥	長南風島、牧島、元ノ島
23	インヒヨドリ		○	○	○	留鳥	大穴、金重島、文ヶ島、長南風島、諸島
24	スズメ	○				留鳥	元ノ島
25	ハシボソカラス	○	○		○	留鳥	相浦川河口、長尾半島、牧島、元ノ島
26	ハシブトガラス		○	○		留鳥	桂島、七郎鼻、ネタギ島、牧島、元ノ島
	カラスsp	○	○	○	○	-	相浦川河口、大穴、オジカ瀬、金重島、長尾半島、黒小島、七郎鼻、鳥ノ巣島、長南風島、鼠島、牧島、元ノ島、斧落とし
	計(種)	11	14	14	21		



図2 ミサゴ (2019. 5. 14)



図3 クロサギ8羽確認 (長南風島 2019. 8. 1)



図4 イソシギ (元ノ島 2019. 8. 30)



図5 カツオドリ (鼠島付近 2020. 1. 11)



図6 カンムリウミスズメ (丈ヶ島 2020. 1. 16)



図7 ウミネコ (長南風島 2020. 2. 3)

参考文献

馬田勝義 2002 佐世保バードウォッチングガイド 佐世保渡り鳥研究会

野添裕一・川久保晶博・遊佐匡子 2006 九十九島周辺で見られた野鳥について 長崎県生物学会誌

高野伸二 2012 フィールドガイド 日本の野鳥 増補改訂版 公益財団法人日本野鳥の会